

出題のねらい

ア. 全般的なねらい

思考力や想像力を働かせて国語を正確に理解し、適切に表現する力をみるために、国語の基礎的・基本的事項を中心として幅広く出題した。

イ. 各問いのねらい

- ① 数学をもとにした科学的な思考方法の普遍性をふまえた上で、行動類型によってその現われ方が異なることを指摘し、人間のなかの植物的傾向から生まれる考え方や生き方の重要性を述べた説明的な文章によって、文脈に即しての読み取りや言葉の知識・意味、文章構成を考慮しつつ内容や筆者の主張を読み取る力をみるとともに、それを的確に表現する能力をみる。
- ② 物事は不確かだて定めにくく流動的な状態にあることを述べた「徒然草」の一節と、兼好法師自身の解説という形を借りながら人間について述べた文章とによって、古典に関する基本的な知識、また古典やそれに関連した現代文の内容についての的確に読み取る能力をみる。
- ③ 中学1年の「海生」が、祖父の回想を端緒とし、本を巡る「風間譲」との会話や親友「田明」とのやりとりをとおして祖父の思いを受け止め、成長していく姿を描いた文学的文章によって、登場人物の心情を想像力を働かせつつも表現や構成に着目して読み取り、それを的確に表現する能力をみる。